

蒼北っ子だより

令和7年9月30日(火)

文責:志岐小学校教頭

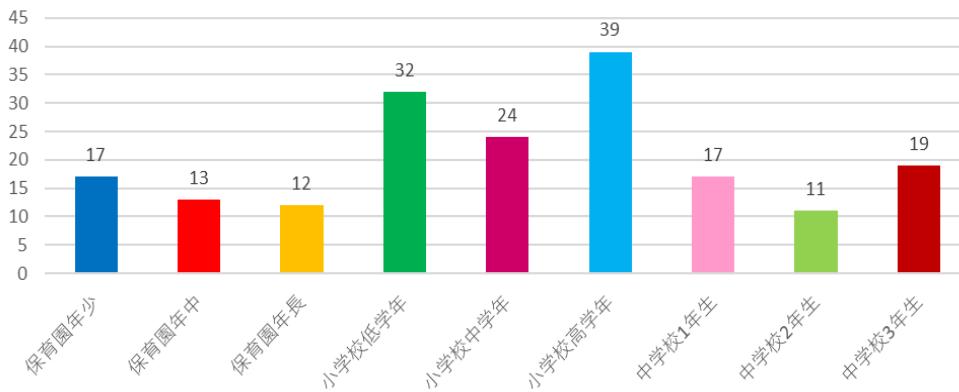
たくましく心豊かな蒼北っ子をめざして

「蒼北中学校区保小中連携協議会」とは、蒼北町で育つ子供たちがたくましく、そして、心豊かに成長できるように連携した組織です。蒼北中学校区にある4つの小学校と6つの保育園の職員が、これまでも連携・協力しながら取り組んできました。

この度、9月1日から始まる週、9月8日から始まる週のどちらかを選んで「れいほく町 早寝・早起き・いきいきウィーク」を町内一斉に取り組んでいただきました。

以下、その結果をお伝えいたします。町全体の傾向を把握していただくとともに、各校・各園・各ご家庭で、今後の取組に生かしていただけたら幸いです。

回答があった子供さんの学年等（総計184人）



【子どもさんは早寝・早起きができた】

(総計184人 15点満点)

平均 9.8点

【家族で「テレビ・ゲーム・スマホを減らして、ふれあいの時間を増やす」ができた】

(総計184人 15点満点)

平均 8.6点

【記述回答 取組の感想（小・中学生、保護者）より】

毎日何の絵本をよんでもらうか考えるのが楽しかった。 (小学生低学年)	どうしてもデジタルに頼ってしまうのは変えられない状況ですが、少しでも変える努力はしたいと思います。 (保育園 保護者)
みんなで本を読んだら止まらなくなつた。楽しかった。 (小学生中学年)	テレビをつける時間を減らしみんなでトランプしたり絵を描いたりできました。 夏休みも規則正しい生活だったので早寝早起きはうまくいきました。 (保育園 保護者)
やっぱりテレビの時間が多くなってしまったので、減らしていきたいです。 (小学生高学年)	ご飯のとき、寝る前はテレビを消して家族の時間を楽しみました。普段、時間があまり作れないで意識してすることが大切だと思いました。 (小学生 保護者)
早寝早起きで生活リズムが整い、朝も余裕を持って支度ができて良かつた。スマホを見る時間を短くして運動することでリフレッシュできて良かった。 (中学1年生)	親もスマートフォンを使いがちになってしまっていたが、それを見直す良い機会でした。 (小学生 保護者)
早寝、早起きは出来たが、タブレットの時間を減らすのは難しかった。ただ、ふれあいの時間は毎日持てたので良かったです。 (中学3年生)	スマホの使い方について改めて話が出来、親子ともに意識を新たにすることができた。 (中学校 保護者)

本取組により、生活を見直す良い機会となったというご意見がたくさんありました。ただの調査に終わらず、本取組が今後に生かせるよう連携協議会作業部会においても役立ててまいります。

保護者の皆様におかれましては、ご多用中にもかかわらず、たくさんのご協力、誠にありがとうございました。

その他の主な活動について

以下、今後の主な取組です。

- ① おすすめ読書郵便 10月、2月
- ② 小学校と中学校の交流 2月、3月 保育園と中学校の交流 12月
- ③ 「園だより・学校だより」を通した交流 通年

今年度より、幼保小の円滑な接続のための取組も全国的に始まっております。小中連携と併せ、蒼北中学校区保小中連携事業の充実に努めて参ります。

「たくましく心豊かな蒼北っ子」に育てるためには、家庭・学校・園・地域・行政の協力が不可欠です。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。